

今日は午前中南小・午後荒川中学校の入学式
に出席した。桜の花の咲くのが早い年では散って
しまっていることがあるが、今年は満開の花で
あった。

この新入生の子供たちが6年間と3年間すくすく
と心身ともに成長することを願う。

小学校の地元議員としての挨拶では、保護者の
皆さんに、いつも野原教育長が話されている

「幡羅高等小学校」が明治31年4月に保護者に
配布した「家庭心得」の中の「**教育の道は、家庭
の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、
世間の教えで実が成る**」の話をした。

100年以上前の時代から、家庭、学校、地域の
連携協力が子供達の健全育成には不可欠で
あることが言われていたのだ。

そしてその大切さは今でも決して変わるものでは
ない。「**家庭の教え**」「**学校の教え**」「**社会の教え**」
のそれぞれが機能し、関わり合い、支え合っ
ていかなければ、「**芽をだすことも**」「**花を咲かせる
ことも**」「**実を結ばせること**」もおぼつかない。

まさにこれは「**教育の原点**」である。

ややもすると保護者の皆さんは一人で悩み、
問題を解決しようとするが、問題を決して一人で
抱え込まないでほしいとお願いした。

日本の国がこれから国際社会で生きて行くには
なんとしても「**人づくり**」に力を注がなければ
ならない。次の代を背負って行く新入生の
健やかな成長を期待する。

平成26年4月8日